

現代日本論講読 I 2001.4.25 第 2 回課題回答例

田中重人

(1) 教科書 p. 114 演習 (b)

「大腸菌のべん毛を動かす回転モーター」に関して

(a) 数十個のタンパク質分子からなる

(b) 直径は約 20nm である

というふたつの記述がある。これらのうち (a) は、「おそらく」という副詞があるので、著者の意見であることがはっきりしているが、(b) はそうではない。

(i) (b) が事実の記述だとした場合の書き直し例

文を分割することがポイント。記述の順序にも注意。

大腸菌のべん毛を動かす回転モーターは径 20nm ぐらいの“分子機械”である。この“分子機械”は数十個の蛋白質分子が組み合わさってできていると私は予想している。

(ii) (b) は意見の記述だとした場合の書き直し例

著者の意見であることを明示する。

大腸菌のべん毛を動かす回転モーターは、数十個の蛋白質分子が組み合わさってできた径 20nm ぐらいの“分子機械”だと私は予想している。

(2) 「子供の学力が低下している」ことを意見として主張したい場合、どのような事実を根拠としてあげればよいか。

【正攻法の回答】

現在の「子供の学力」を測定して、測定結果が過去の同質のデータより低いことを示せばよい。

ただし

- ・ 誰を「子供」とみなすのか
- ・ 「学力」はどうやって測定するのか
- ・ 「過去」とはいつか
- ・ 比較可能な試験や調査が過去におこなわれているか

といった問題があるため、手に入るデータは限定される。実際に根拠付けることができるのは、たとえば「2001 年の中学生の計算能力は 1991 年よりも低い」といった意見になるだろう。

【周辺の回答】

学校のカリキュラム、入学試験の問題、教師からの聞き取りなどによって、過去とどうちがっているかをしらべる。

「学力の低下」そのものをしらべているのではないから、根拠としては弱い。ただ学力を直接測定するよりすくない労力ですむので、てっとりばやく傍証をえるにはよい方法である。